様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 9 月 30 日
２次評価日（部長等）	29 年 10 月 1 日

１ 施策の概要

施策名	消防・救急体制の充実				コード	9-4
この施策の主な内容（細施策）	（1）諏訪広域消防本部の一元化　（2）消防団の充実　（3）消防力の強化（4）火災予防の推進と防災意識の高揚					
第４次総合計画におけるこの施策の目的	火災や大規模自然災害等から、市民の生命・財産・身体を守るために、消防水利や消防施設を充実させるとともに、地域防災の要である「岡谷市消防団組織」を充実せせ、消防力の強化を図る。					
担当部課	部	総務部	課等	消防課	作成者	大下　彰一

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	消防水利施設の充足率	%	58.5%	58.5%	59.0%	58.7%	99.5%	59.0%	59.5%
	指標説明	既存消防水利において基準を満たした（貯水槽40㎥以上・消火栓150mm以上接続）貯水槽や消火栓の充足率を指標とする。							
②	防災組織への訓練指導回数	回	35	38	45	37	82.2%	45	45
	指標説明	市内防災組織への訓練指導、イベント、会議、研修回数。							
③	消防団員の充足率	%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%	98.4%	100.0%	100.0%
	指標説明	岡谷市消防団員の条例定数（549名）に対する実員数を指標とする。							

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	534,527	465,192	547,529	579,644
人件費	21,280	21,680	20,400	20,400
合計コスト	555,807	486,872	567,929	600,044

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

・常備消防については、一元化実施から２年が経過し安定して消防力の強化が図られている。
・消防団員の充足率は年度末団員数５４０名による。
・消防団組織の充実については、「安全の確保」「負担の軽減」「処遇改善」の内、特に「負担の軽減」について重点的に取組んだ。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	平成１８年の豪雨災害を教訓として、行政、市民共に高い防災意識を持っている。
岡谷市の弱み	地域の財政力。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	防災意識の一層の高まり。 国、県の防災対策事業費の拡大。
不利に働くもの	経済の停滞。 災害頻度の上昇と大規模化。

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	・地域防災力の向上に欠かせない、消防団員の恒常的確保と消防装備の充実。 ・消防力の整備指針の基づく、消防水利の質的な強化。
見直しを行う分野	・なし

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標 指標名	成果指標 単位	成果指標 26年度	直接事業費 26年度	人件費 26年度	妥当性	方向性	優先度
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		内部	あり	諏訪広域消防事務	―	―	―	385,290	0	―	継続して実施	B：現状維持
							―	478,314	0			
							―	474,989	0			
							―	510,754	0			
2		一般	あり	消防団活動事業	消防団員の充足率	%	100	72,360	15,200	高い	継続して実施	B：現状維持
							100	84,957	15,200			
							98.4	67,655	15,200			
							100	65,894	15,200			
3		内部	あり	消防団施設整備事業	―	―	―	2,873	1,600	―	継続して実施	B：現状維持
							―	12,928	1,600			
							―	0	0			
							―	0	0			
4		内部	あり	消防事務	―	―	―	2,007	800	―	継続して実施	B：現状維持
							―	2,468	800			
							―	2,427	800			
							―	2,456	800			
5		建設	あり	消防水利整備事業	基準以上の消防水利の充足率	%	58.5	445	800	―	継続して実施	B：現状維持
							58.5	1,653	800			
							58.7	2,419	800			
							59.0	500	800			
6		内部	あり	消防水利管理事業	―	―	―	500	800	―	継続して実施	B：現状維持
							―	950	800			
							―	0	800			
							―	0	800			
7		内部	あり	水防資機材整備事業	―	―	―	40	800	―	継続して実施	B：現状維持
							―	19	800			
							―	39	800			
							―	40	800			
8		内部	あり	消防施設整備事業	―	―	―	1,677	800	―	継続して実施	B：現状維持
							―	2,058	800			
							―	0	800			
							―	0	800			
9		一般	あり	自主防災組織等育成事業	防災組織への訓練指導回数	回	35	0	880	―	継続して実施	B：現状維持
							38	0	1,200			
							37	0	1,200			
							45	0	1,200			
10												